



ラ・ソーラ牧落 カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
				1 お笑い鑑賞	2 音楽鑑賞	3
4	5 往診	6 プラネタリウム	7 歯科&往診	8 映画鑑賞	9 カラオケ	10 往診
11	12 往診	13	14 歯科&往診	15 お笑い鑑賞	16 折り紙教室	17
18	19 往診	20 音楽鑑賞	21 歯科&往診	22 カラオケ	23 折り紙教室	24 往診
25	26 往診	27 懐メロクラフ	28 歯科&往診	29 書道	30 折り紙教室	31

七夕とは

織姫（おりひめ）さまと彦星（ひこぼし）さまが天の川を渡って、1年に1度だけ出会う7月7日の夜のこと。短冊に願い事を書いて、笹竹に飾り付けます。

「雨が降ると天の川が渡れない」ともいわれて、てるてる坊主をつるした人も多いのでは。かつては旧暦の7月7日だったので、現在でいうところの8月上旬～下旬ごろ。昔は晴天率の高い行事だったのです。

国を超えて広く伝わる織姫と彦星のお話には、いろんなバリエーションがありますが、以下の内容はほぼ共通しています。天帝（神様）の娘である織女は、機織りが上手で働き者の女性。天帝は、同じく働き者で牛飼いの牽牛と引き合わせました。二人はひと目で恋に落ち、結婚しました。ところが結婚すると遊んでばかりで、働かなくなるという結果に。怒った天帝は二人を天の川の兩岸に引き離しましたが、織女が泣いて悲しんだため、年に1度、七夕の夜にだけ会うことを許すようになった…というあらすじです。

